

令和5年3月市議会定例会  
環境部  
議案説明資料  
(当初予算分)

目 次

【予算案件】

1	令和5年度環境部所管予算(案)総括表	1頁
2	海洋ごみ対策推進事業について	2頁
3	チームとやまし推進事業について【拡充】	3頁
4	ZEH及び省エネ設備等導入補助事業について	4頁
5	ゼロカーボン推進事業について【拡充】	5頁
6	えごま6次産業化推進事業について	6頁
7	国際展開支援事業(JICA関係)について	7頁
8	カラス対策事業費について	8頁
9	資源物ステーション運営事業について	9頁
10	家庭ごみ有料化推進事業について	10頁
11	プラスチック資源一括回収事業について	11頁
12	地域環境美化推進事業について	12頁
13	塵芥収集車等の更新について	13頁
14	つばき園維持管理事業(設備改修)について	14頁

# 1 令和5年度 環境部所管予算（案）総括表

【一般会計】

(単位：千円、%)

区分 予算科目(款・項)	令和5年度 当初予算(案) A	令和4年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A-B	増減率 A/B
環境部 合計	4,589,772	4,137,617	452,155	110.9
(款4)衛生費	4,589,772	4,137,617	452,155	110.9
(項2)環境衛生費	4,589,772	4,137,617	452,155	110.9

## 【海洋ごみ対策推進事業費】

# 2 海洋ごみ対策推進事業について

[環境政策課]

(1) 予算額 15,348千円

財源内訳	県支出金（海岸漂着物対策事業費補助金）	8,923千円
	一般財源	6,425千円

## (2) 事業目的

海洋ごみの約8割は、陸上で発生したものが河川などを通じて海に流出していることから、市内の準用河川にオイルフェンスを設置するとともに、川上から川下まで一体的にイベントを開催することで、海洋ごみ流出抑制のための市民の具体的な行動を促すもの。

## (3) 事業内容

ア. 「サステナブルアクション」開催事業【新規】 10,600千円

- ①中山間地域（川上）での環境に配慮した親子キャンプ体験
  - ・太陽光パネル、EV等の電源やペレットストーブの活用
  - ・地元食材によるフードロス対策としてごみの排出を抑えた料理の実践
  - ・LEDを発光する風車等の再エネキットの制作体験 等
- ②国際会議場（予定）での「海洋ごみについて考えるフォーラム」の開催
  - ・著名人による講演
  - ・有識者等によるパネルディスカッション 等
- ③海岸（川下）でのごみ拾い体験 等

イ. 海洋ごみに関する普及啓発事業 4,748千円

- ・オイルフェンスの設置等（がめ川）
- ・海洋ごみ流出抑制対策取組紹介動画の作成
- ・小学生への特別授業（出前講座やオイルフェンスの見学等）及びパネル展の開催等

## 【地球温暖化対策推進事業費】

### 3 チームとやまし推進事業について【拡充】

[環境政策課]

(1) 予算額 3,520千円

財源内訳	ふるさとぬくもり基金繰入金	3,500千円
	一般財源	20千円

#### (2) 事業目的

脱炭素社会の実現に向け、市民、事業者、行政等が連携協力する市民総参加型のプロジェクト「チームとやまし」の取組みについて、家庭・事業所部門からの温室効果ガスの削減を図るもの。

#### (3) 事業内容

- ア. 省エネ教育プログラム実施事業 238千円  
チームとやまし推進事業として実施・作成してきたツールを活用し、親子及び一般向けの省エネ教育プログラムを実施するもの。  
・「環境すごろく」を活用した環境教育の実施  
・エコクッキング教室の開催  
・エコドライブ教室の開催  
・次世代エネルギーパークツアーの実施 等
- イ. 緑のカーテン設置事業 238千円  
環境教育の一環として、保育所等に緑のカーテンを設置するもの。
- ウ. 企業・団体向け脱炭素化促進事業【新規】 2,000千円  
企業や団体等を対象にしたセミナーの開催等を実施し、事業所部門における脱炭素化の促進を図るもの。  
・脱炭素セミナーの開催（全3回）  
（カーボンニュートラル体験ゲーム、先進事例及び補助金紹介、意見交換等）  
・環境イベント等への企業・団体向けのブース出展  
・普及啓発用ツールの作成
- エ. 事務費等 1,044千円  
・ホームページ保守業務、広報とやま掲載、リーフレット作成等

【脱炭素化推進事業費】

4 ZEH及び省エネ設備等導入補助事業について

[環境政策課]

(1) 予算額 14,840千円

財源内訳	国庫支出金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）	4,030千円
	一般財源	10,810千円

(2) 事業目的

ゼロカーボンシティの実現に向け、家庭から排出される温室効果ガスの削減を図るため、住宅のZEH化や省エネルギー化を推進するもの。

(3) 事業内容

ZEHの取得者や省エネルギー化を推進するエネファームや蓄電池等の住宅用設備の設置者に対して補助を行う。

	補助対象設備等	補助金額 (1件)	件数
1	ZEH（国の上乗せ補助）	20万円	20件
2	ペレットストーブ（木質ペレット燃料使用）	5万円	25件
3	エネファーム（家庭用燃料電池）	5万円	40件
4	蓄電池	5万円	150件

※ ZEH…快適な室内環境を保ちながら、住宅の高効率化と高効率設備により、できる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、1年間で消費するエネルギー量が正味（ネット）で概ねゼロ以下となる住宅。

[参考] 補助実績

(単位：件)

	設備名等	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度 (1月末現在)
1	ZEH（R4～）	—	—	—	—	1
2	ペレットストーブ	25	25	24	14	14
3	エネファーム	73	33	49	36	7
4	蓄電池	106	134	188	181	76

【脱炭素化推進事業費】

5 ゼロカーボン推進事業について【拡充】

[環境政策課]

(1) 予算額 81,777千円

財源内訳	市債（公共施設等適正管理推進事業債）	72,000千円
	ふるさとぬくもり基金繰入金	9,700千円
	一般財源	77千円

(2) 事業目的

近年、国内外でゼロカーボンの実現に向けた機運が高まる中、本市では、環境政策の更なる推進を図ることにより、急速に進展する気候変動への対策を強化するなど、脱炭素社会の実現を目指すもの。

(3) 事業内容

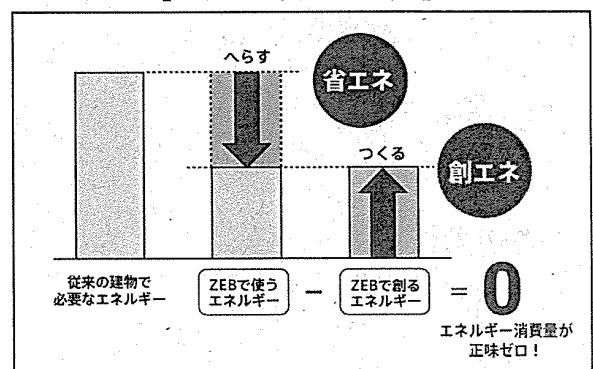
ア. エコタウン交流推進センターZEB化改修事業【拡充】 81,110千円  
市の率先行動として、エコタウン交流推進センターをエネルギー収支でゼロを目指すZEB化のための改修を実施し、環境学習の拠点として脱炭素化に向けた啓発活動を推進するもの。

【ZEBイメージ図】

【改修内容】

- ・ 高効率空調への更新
- ・ 断熱性能の高い真空ガラスへの更新
- ・ 照明機器のLED化
- ・ エネルギー使用状況の「見える化」

※ 太陽光発電設備は、既設であることから引き続き活用するもの。



イ. その他関連業務

667千円

- ・ 婦中体育館における自立・分散型エネルギー設備導入効果検証業務
- ・ その他経費（旅費、消耗品費）

【未来都市推進事業費】

## 6 えごま6次産業化推進事業について

[環境政策課]

(1) 予算額 5,604千円

〔 財源内訳 一般財源 5,604千円 〕

(2) 事業目的

えごまの効能及び「富山えごま」の認知度を高めるため、SNS等での情報発信や、販売促進等のイベントを実施し、普及啓発を図ることにより、えごまの6次産業化を推進するもの。

(3) 事業内容

ア. えごま6次産業化プラットフォーム推進業務 5,000千円

- ・市民向け普及啓発イベントの開催
- ・富山えごま認定商品の販売促進「エゴマルシェ」の開催
- ・首都圏の飲食店と連携したPRイベントを開催
- ・SNS等を活用した認知度向上のための情報発信

イ. えごま普及啓発のためのPR業務等 604千円

- ・広報とやま特集号掲載
- ・物産展におけるプロモーション事業

## 【国際展開事業費】

### 7 国際展開支援事業（JICA関係）について

[環境政策課]

(1) 予算額 4,980千円

財源内訳	諸収入（JICA中小企業支援事業）	3,075千円
	一般財源	1,905千円

#### (2) 事業目的

「SDGs 未来都市」として国際連携を推進するため、独立行政法人国際協力機構（JICA）の事業を活用した市内企業の技術・ノウハウの海外への普及・展開を支援することで、国外の都市が抱える課題解決を図るもの。

#### (3) 事業内容

JICA普及・実証事業が円滑に行えるよう、現地政府機関や関係者との交渉窓口として調整を図ることにより、市内企業を支援するもの。

- ・廃棄物処理展開支援事業 [バリ州] 4,980千円  
ごみ処分場の容量不足や衛生問題を解消するため、有機廃棄物の堆肥化プラントを導入し、生ごみから良質な堆肥を製造して農業に活用するもの。

#### [参 考]

環境省による「脱炭素社会実現のための都市間連携に基づく案件形成可能性調査（JCM調査）」については令和5年度も継続して採択を目指し、市内企業の脱炭素技術の適用を検討するための調査を行う。

(※) JCM（二国間クレジット制度）は、途上国への優れた低炭素技術等の普及を通じ、地球規模での温暖化対策に貢献するとともに、我が国の削減目標達成に活用するもの。

- ・調査対象都市  
バリ州（インドネシア共和国）  
イスカンダル地域（マレーシア）  
サンチアゴ市レンカ区（チリ共和国）



【環境保全事務費】

## 8 カラス対策事業費について

[環境保全課]

(1) 予算額 24,081千円

〔 財源内訳 一般財源 24,081千円 〕

### (2) 事業目的

都心部では、夕暮れ時に多くのカラスが群舞する光景やふん害がみられ、都市景観の悪化が懸念される。このことから、カラスの個体数を減少させるため、都心部におけるカラスの捕獲を重点的に取り組み、都市のイメージアップを図るもの。

### (3) 事業内容

平成29年度から重点的に取り組んでいるカラスの捕獲を継続実施する。

- ア. カラス捕獲業務委託 21,861千円  
(城址公園他の檻設置等)
- イ. カラス生息数調査業務委託 2,085千円
- ウ. 広報による市民への啓発 135千円

[参 考] 捕獲実績と生息数調査結果

(単位:羽)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
捕獲数	2,027	2,330	2,704	2,864	2,745
生息数	3,611	3,070	4,622	2,497	2,195

【ごみ減量化・資源化推進事業費】

## 9 資源物ステーション運営事業について

[環境センター管理課]

(1) 予算額 15,108千円

財源内訳	諸収入（古紙売却収入）	7,287千円
	一般財源	7,821千円

### (2) 事業目的

資源物の排出機会の拡大を図るため、土曜、日曜及び祝・休日に持ち込める資源物ステーションを市内8か所に開設し、ごみの減量化・資源化を推進するもの。

### (3) 事業内容

資源物ステーションにおいて回収する品目

- ①空き缶 ②空きびん ③ペットボトル ④プラスチック製容器包装  
⑤紙製容器包装 ⑥新聞 ⑦雑誌（雑紙）⑧段ボール ⑨布類（衣類のみ）  
⑩小型廃家電（パソコン含む）⑪水銀使用製品（蛍光管、体温計など）

ア. 資源物ステーションの運営	<u>7,821千円</u>
・資源物ステーション受付業務委託料	7,394千円
・資源物ステーション集積倉庫借上料など	427千円
イ. 資源物処理業務	<u>5,757千円</u>
・布類リユース処理委託料	1,164千円
・小型廃家電処理委託料	4,180千円
・水銀使用製品の運搬および処理委託料	413千円
ウ. 八尾資源物ステーションの移設	<u>1,530千円</u>
（八尾行政サービスセンターの移転に伴い八尾アリーナ敷地内へ移設）	
・集積倉庫の撤去及び新設、受付員詰所の移設など	

## 【ごみ減量化・資源化推進事業費】

### 10 家庭ごみ有料化推進事業について

[環境センター管理課]

(1) 予算額 30千円

〔 財源内訳 一般財源 30千円 〕

#### (2) 事業目的

##### ア. ごみの減量化

費用負担を軽減しようとするインセンティブ（動機づけ）に基づく発生抑制や分別の徹底によるごみの減量化により、資源の有効活用や、ごみ処理経費の低減、ごみ処理施設の延命化、施設更新時の規模縮小等による将来世代の負担軽減を図る。

##### イ. 公平性の確保

ごみの排出量に応じた手数料徴収によって、費用負担の公平性の確保を図る。

##### ウ. 市民の意識改革・ライフスタイルの変化

ごみ処理費用を意識することによる詰替商品や簡易包装製品の選択など、環境負荷の低減を意識した行動への変化により、ごみの排出ができる限り抑制されたライフスタイルや社会の実現を図る。

#### (3) 事業内容

引き続き先行都市事例の調査・研究を進めるとともに、意見交換会等を通じ市民の意見を聞きながら、有料化を導入する場合の課題や、本市の実情にあった制度等についての検討を行う。

ア. 各種団体等との意見交換会の実施 消耗品費 30千円

イ. 出前講座等での説明

ウ. 環境審議会への報告

エ. 制度素案の検討 など

## 【ごみ減量化・資源化推進事業費】

### 1 1 プラスチック資源一括回収事業について

[環境センター管理課]

(1) 予算額 5, 0 6 5 千円

〔 財源内訳 一般財源 5, 0 6 5 千円 〕

#### (2) 事業目的

令和4年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」において、市町村はプラスチック資源の効率的な分別収集と再商品化に努めることとされた。

このことから、既に分別回収している「プラスチック製容器包装」と、現在は燃やせるごみとして処理している「プラスチック製品」を一括回収して再商品化することで、燃やせるごみの減量化やプラスチックの資源化の取組みを促進するもの。

#### (3) 事業内容

婦中地域で実施した実証事業の結果等を踏まえ、令和6年4月からの市内全域での本格導入を目指して、本市の実情に応じた仕組みになるよう関係機関等とともに検討を進める。

ア. 分別排出の基準

イ. 収集体制や集積場及び資源物ステーションへの影響

ウ. 効果的な周知方法 など

#### (4) 事業費

(印刷製本費) 5, 0 6 5 千円

・令和6年度版

「一括回収 周知案内用チラシ」 1, 9 2 6 千円

・令和6年度版

「家庭ごみと資源物の分け方・出し方」 3, 1 3 9 千円

## 【地域環境美化推進事業費】

### 1 2 地域環境美化推進事業について

[環境センター業務課]

(1) 予算額 1,920千円

財源内訳	一般財源	1,920千円
------	------	---------

#### (2) 事業目的

市民との協働による清掃美化活動を通じて、市民の環境美化意識の高揚を図るとともに、清潔で健全な地域の生活環境の向上を目指すもの。

#### (3) 事業内容

富山市環境美化推進事業計画に基づき、地域住民の協力を得て環境美化推進事業を実施する。

- ア. 環境美化活動清掃消耗品 420千円
- イ. ふるさと富山美化大作戦実行委員会補助金 1,500千円

実施内容	実施月	清掃場所
川をきれいにする日	6月上旬	松川・いたち川・白岩川・下条川 常願寺川・井田川の一部
海岸をきれいにする日	7月上旬	富山市に面する海岸一帯
ふるさと富山美化大作戦	8月中旬	市内全域
呉羽丘陵等をきれいにする日	10月上旬	呉羽山・城山・古洞の森の一部
街角クリーン活動	4月～ 11月	市本庁舎周辺及び 各行政サービスセンター周辺など

[参考] 令和4年度実績

実施内容	参加人数	収集量
川をきれいにする日	約4,450人	15.5t
海岸をきれいにする日	約4,500人	17.8t
ふるさと富山美化大作戦	約65,000人	9.8t
呉羽丘陵等をきれいにする日	約85人	77kg
街角クリーン活動	約1,197人	366kg

## 【塵芥処理維持管理費】

### 1 3 塵芥収集車等の更新について

[環境センター業務課]

(1) 予算額 35,200千円

財源内訳	市債（清掃運搬施設整備事業債）	18,400千円
	一般財源	16,800千円

(2) 事業目的

老朽化等に伴う車両を計画的に更新し、ごみ・資源物の収集運搬業務を円滑に遂行するもの。

(3) 事業内容

現在、保有しているCNG（圧縮天然ガス）を燃料とする平ボディ車2台については、燃料充填容器の交換時期（交換費用：約130万円/1台）である15年を迎えることに加えて、令和5年度には充填施設の閉鎖が予定されていることから、環境にやさしいハイブリッド車に更新する。

また、老朽化の著しい塵芥車を1台更新する。

ア. 平ボディ車（ハイブリッド）	2台	19,800千円
イ. 塵芥車	1台	15,400千円

〔参考〕 現有車両台数

・平ボディ車	10台
・塵芥車	50台

【つばき園費】

## 1 4 つばき園維持管理事業（設備改修）について

[環境センター管理課]

(1) 予算額 103,290千円

[	財源内訳	市債（一般廃棄物処理事業債）	89,100千円
		市債（行政改革推進債）	9,900千円
		一般財源	4,290千円

(2) 事業目的

つばき園（浄化槽汚泥処理施設）は、竣工から30年以上が経過し老朽化が進んでいることから、改修整備を行うもの。

(3) 事業内容

設備の改修に向け、令和4年度に実施した基本設計に基づき、設計・施工業務にかかる発注準備や、専用下水道管渠布設工事等を行う。

改修にあたっては、処理方式の変更と処理能力の見直しを予定している。

- ・処理方式の変更（焼却方式から希釈放流方式）
- ・処理能力の見直し（90kl/日から40kl/日）

ア. つばき園改修に係る発注支援業務委託	4,290千円
イ. つばき園専用下水道管渠布設工事	95,000千円
ウ. つばき園専用下水道管渠布設工事施工監理業務委託	4,000千円

(4) 改修スケジュール（予定）

業務内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
基本設計業務【実施済】	➡				
発注支援業務		➡			
実施設計・施工、施工監理			➡●		
専用下水道管渠布設実施設計業務【実施済】	➡				供用開始
専用下水道管渠布設工事、施工監理		➡			